

【研究ノート】

漫才全集

増田辰良

研究ノート

漫才全集

増田辰良

目次

1. わが家のシリア攻撃
2. 技術の進歩
3. キレ(切れ)ていいすつよ
4. カメは万年
5. しゅうかつ
6. 厄払い
7. その飯まんま
8. 恋人はAIロボット

1. わが家のシリア攻撃

― 演者のK&M(けいと&まさと)が舞台へ登場する。

K 昨日、テレビのニュースを観てたら、アメリカのトラがオナラをするみたいな大統領、金髪でエ……の大統領がシリアを攻撃したつて(2018年4月14日)、映像が流れていたよね。

M 君ねエ、人の名前くらい、ちゃんと覚えてからしゃべりなさいよ。

K 何んて言ったかなア、トラがア、ほらオナラを……。

M トラがオナラをプーとして、トランププーって言いたいのだろ。

K そう、そうだったア。シリアを攻撃しただけにお尻からプー。

M その尻とは違う。

K アメリカがシリアを攻撃したのは2回目だった。

M そう。昨年もこの頃(2017年4月)に攻撃をしたんだ。

K 今回はアメリカだけじゃなくて、イギリスとフランスも共同して

攻撃しようだね。

M 5月になる前の真つ暗な夜に攻撃したんだア。

K メイ首相とマクロン大統領と言いたいのね。そんなことよりも君、

理由、攻撃した理由を知っているかい?

M もちろん、知っているよ。シリアは内戦状態が続いていて、アサ

ド政権軍が化学兵器禁止条約で使用が禁止されている化学兵器を

使ったことにアメリカが怒って、化学兵器関連施設へミサイル(ト

マホーク)攻撃をしたト、マーホー(コ)クされているよ。

K 無理してダジャレを言わないの。

M 化学兵器を使ったかどうか、確定しないまま攻撃したとも言われ

キーワード:漫才、笑い、技術、神、AI(人工知能)

K 君もなかなかよく知ってるねエ。感心した。
 M 僕も新聞を読んだり、テレビのニュースくらいは観ているから。
 K でも、人を殺すのに使ってはいけない兵器を決めるくらいであれば、最初から殺し合いをしなきゃいいのに。あんな攻撃はして欲しくないし、観たくないねエ。
 M そう。内戦も戦争も、ほんと嫌だよな。
 K やって欲しくない。絶対に。
 M 実はね、わが家でもシリア攻撃がはじまってね。
 K ……？ あのねエ、シリアと君ん家とはまったく関係ない、関係ないから。
 M そう思うかもしれないけど、わが家でもついにシリア攻撃がはじまったんだよ。ついに。
 K はじまるわけがない。君ん家で。
 M はじまったものはしょうがない！
 K はじまるわけがない！
 M 僕と女房との大ゲンカ！ ワァーウと。
 K 君と何？
 M 僕と女房との大ゲンカ！ 家の内でのケンカなので、これは立派な内戦ですよ！
 K それは単なる夫婦ゲンカ。犬も喰わない夫婦ゲンカと言うの。
 M それがまさにシリア攻撃なんだよ。敵はわが女房一人。
 K 君ん家の夫婦ゲンカをシリア攻撃というの？ 言い張るの？
 M そう。深刻なんだあ。
 K どうして？ なぜ奥さんから攻撃されているの？
 M 聞いてくれる？

K 聞くよ。相方が攻撃されているんだもの。
 M 2日前に、女房の前でついつい……。
 K ついつい、何？
 M つい、もらしたのよ。
 K つい、もらす。秘密をかい？
 M 秘密というほどのものではない。もれることもある。
 K 秘密でなくて、もれることもある。何をもらしたの？
 M へ(屁)エ。
 K へエじゃ分かんよ。何をもらしたの？
 M だから、へエ。
 K あア。オナラかい。オナラを奥さんの前でもらしたのかい？
 M そう、それ。尻アから出るオナラ。
 K どうも今日の話は胡散臭いなア。
 M スタートがトランプー、だったから。
 K しょうがないなア。
 M で、運悪くプーともらしちゃったのよ。
 K そんなときはすぐに「ごめん」って謝ればいいだろ。
 M それがさア、タイミングが悪くてエ。
 K タイミング？ いつもらした？
 M 夕食を食べているときだったんだ。
 K そりゃア、もつと失礼だわな。
 M また、今回だけじゃないから……。 「ごめん」って言っても許してくれないのさ。
 K そう何回も、奥さんの前でプーするもんじゃない。あまりし過ぎると、奥さんはプリプリと気分を悪くする。
 M で、お尻を思いつき叩かれてエ。痛〜い〜痛〜い〜。

K 子供みたいだなあ。手でかい？
 M そう、女房の手はでかい。(掌を広げ) こんなに大きくて。
 K 違うー。手で叩かれたの？
 M いいや、木製のハンガーで。
 K 手荒いことをするなあ。奥さんも。
 M そう。これがシリア攻撃のはじまり、はじまり！
 K (笑) そうかア。尻を叩かれて、さっきのトランプと変わらんなあ。
 M そう、そのまんまシリア攻撃。
 K じゃ、訊くぞ。
 M 何を？
 K 君ん家の夫婦ゲンカがシリア攻撃と言うのなら、ミサイルは飛んできたのか？ ミサイルは？
 M ミサイルの替わりに味噌汁が飛んできた。
 K 味噌汁？
 M そう。お椀に入っている味噌汁。もうちょっとで火傷をするところだったア。
 K 着弾しなかったの？
 M そう。うまくかわしたよ。どう、似てるでしょ。ミサイル攻撃、味噌汁攻撃。
 K 似てない、似てない。そもそも今回、シリアが攻撃された理由を知っているのかね？
 M アメリカ、イギリスとフランスが攻撃した理由ね。
 K そう。
 M それはシリアの内戦でサリンとか塩素ガスという化学兵器が使われた可能性があるからでしょ。

K そうだよ。そこまで知っているなら、訊くけど、君の家に化学兵器ってなものがあるのかい？ 持っていたら大変なことになるぞ！ 即、逮捕される。無期懲役だな。
 M (しらっと) あるよ。それが原因で夫婦ゲンカが大きくなったのだから。
 K ほう。大変なことを白状したな。その化学兵器とは？ ここで訊いてもいいのか？ 警察に通報されるぞ。
 M いいよ。誰でも使っているし、君も使っているよ。
 K ええッ？ 僕は化学兵器なんて持っていないし、使ってもいいよ。
 M いいや、使っているって。
 K 使っている？ 何？
 M 醤油。
 K よく聞きなさいよ。
 M 醤油。
 K 醤油？ 醤油って、目玉焼きとか大根おろしにかける、あの醤油？
 M そう。
 K 醤油がなぜ化学兵器なの？
 M 君、知っているかなア？ 醤油の造り方。
 K あア、知っているよ。醤油を作るには大豆、小麦、塩と麹菌が必要だよ。
 M 作る手順は？
 K 手順はだねエ、まず、大豆をよく洗ってから、高温で蒸す。するとタンパク質が変わる。小麦は高温で炒ってから、細かく砕く。砕くとアルファ化する。この大豆と小麦を混ぜて、そこへ麹菌を加える。これを保温して、次に塩水を加えると「もろみ」ができ

る。もろみは発酵して、3日ほどでしよう麹が完成する。これを半年から1年寝かせてから布で絞ると醤油ができる。どう、この説明で。

M 詳しい説明をしてくれて、ありがとう。

K いわば、醤油は大豆、小麦、塩と麹菌を化学反応させて作っているんだよ。

M そら、化学反応しているじゃないかア。

K あア、化学反応？ しかし、化学反応はしても兵器とは違う。兵器にはならない。

M 大根おろしにかけ過ぎてごらんよ。

K 塩分が多いから、かけ過ぎると高血圧になると言われている。

M そうだろ。高血圧になると、どうなる？

K 動脈硬化といって血管が塞がってしまう。

M 塞がってしまうとオ。

K 心筋梗塞や脳卒中なんかで死ぬこともある。

M そら、今、言ったア、死ぬと。化学兵器だろ。

K ほウ。ものはいよいよ、考えようだなア。で、なぜ君ん家で兵器になつてゐるの？

M 僕は冷奴ひやどら、豆腐が大好きで、三度三度食べても飽きない。

K 豆腐は身体にいいから、いくら食べてもいいだろ。食べなさいよー。

M でも、醤油をついついかけ過ぎるのよ。

K かけ過ぎはよくない。さつきも言ったように塩分のとり過ぎで高血圧になるから。

M それは分かっている僕も濃い口醤油が好きだから、つい。

K つい、でもだめ。醤油のかけ過ぎはいけない、いけない。

M で、僕が醤油をかけるたびに女房がキィって睨にらむんだよ。それ以

上、かけるなつて目をしてねエ。

K そりゃあ、奥さんの愛情だよ。君の身体を心配してくれて。

M ところが、やつちやつたんだア。醤油への愛が女房の愛情を上回って、「放はなつておいてくれ！」って怒鳴どなっちゃつてエ、ついには大ゲンカになつてしまつてエ。

K (笑) 醤油しょうゆことかア。

M シヤレてる場合じゃないから。わが家では深刻な問題だから。

K 君ん家では醤油が化学兵器だつてことは分かつた。ミサイルが打ち込まれたのはダマスカスの東グータ地区だけど。君ん家のシリア攻撃にダマスカスとかグータは出てくるのか！

M 出てきましたよ！

K 出てきたかア？

M 2日前の夜に使おうと思つたら、醤油の小瓶がいつもと違うんだよ。

K いつもと違う？

M そう、女房が薄口醤油に替えたんだ。

K 替えた？

M 僕は気づいたから、女房に言つてやつた。

K 言つてやつた？ 何て？

M よくもダマスカス。

K それはダメしたな、だろ。

M よく、似てるじゃないか。

K じゃあ、攻撃されたグータはどうなつた？

M 女房は「わたしの気づかひも無視して」って不貞ふてい腐くれて、ソファにグタツと不貞ふてい寝ねした。

K ソファにグタツとくかア。

M あつちを向いていてね。こつち尻や！
 K んんッ。じゃあ、訊くけど、君の家には君を支援してくれる家族、
 子供はいるかい？
 M そんなあ、こどもに支援を頼んだら、余計に攻撃されかねないよ。
 K どうして？
 M 子供たちはみんな女房派だから。
 K 女房派ねエ。それも情けない。
 M そう、そんな支援を頼もうものならどんな反撃を食らうことか。
 K おそロシア。だから、僕一人で戦う。支援はイラン。
 M んんんッ。じゃあ、肝心なことを訊くよ。
 K 何？
 M 君ん家にはアサド大統領は出てくるかい？ アサドは？
 K こちらも出てきましたよ！
 M 出てきた？
 K 女房が怒って、僕にだねえ、意見をしてもらうために内緒で実家の親父を電話で呼び出したんだ。義父は女房^{びいき}鼻^{びいき}真^{びいき}で、かつ頑固で怖いし。
 K ほウ。君ら夫婦はいい歳をして、ケンカの仲裁を実家の義父にしてもらったのかア。でも、大統領とは違うな。
 M いいや、義父は大工の棟梁だ！
 K ほくほウ。大工の棟梁。大棟梁も大変だ、忙しいだろうにイ。
 M 忙しければ、来なきやいいものを、予告もなく僕の寝起きを狙ってねエ。
 K 予告もなく寝起きに来た？ 先制攻撃だな。
 M そう。玄関へ入って来るなり、「何をもめてんだア」という怒鳴り声を聞いて、アサ(朝)ドつきとして血圧が上がった。

K そりゃあ、醤油の摂り過ぎよりも悪い。

(了)

2. 技術の進歩

— 演者の K & M (けいと & まさと) が舞台へ登場する。
 K 技術の進歩はすさまじいねエ。
 M そうだね。日進月歩だよ。
 K そんな遅くないよー。もつと速いから。
 M えーッ。
 K 秒進分歩^{びょうしんぶんぽ}の速さだよ。
 M 秒進分歩。そう言われれば、そうかもしれないア。確かに速い。人間が運転しなくてもセットするだけで目的地まで車を動かせる技術も実現しそうだってさ。カーナビで場所を指定するだけで、ハンドルは握らなくてもいいし、ブレーキやアクセルを踏む必要もない。無人運転、自動運転ができる時代だよー。
 M そういえば、テレビでその技術が紹介されていたな。でも、それを考えて作ってしまう人間の能力もすごいもんだねエ。
 K でもね。目的地を指定してあげないと動けない。
 M そりゃあそうだ。いくら自動といつても、人間が指定をしないと、車は動けないし、目的地へは行けないわな。
 K で、僕はカーナビの技術と自動運転に注目をしているんだ。
 M へーッ。それ、どんな技術よ。
 K うん、目的地を指定すれば何もしなくても自動でそこへ行けるわけだから、それを応用するのさ。

(五)

- M ほ。どこにどう応用するの？
- K 目的を叶えてくれるナビを作ればいい。目的を指定してやれば、後は自動でその目的が達成できる。うん。これはいいよ。
- M 目的を叶えてくれるナビ？ それって「ドラえもん」の道具みただね。
- K そうとも言える。
- M でもし作れたとして、君はどう使いたいの？ 便利そうだけど、実現して欲しいことを指定するのさ。
- K いいよ「ドラえもん」だね。で、どんなこと？
- K いいかい。たとえば、画面に就職したい会社を出しておいて、その中から一社を指定すればいい。そうすれば、自動でその会社へ就職できちゃう。これさえあれば就活で泣く学生さんはいなくなる。いいだろう。
- M そんなにうまくいくかなあ？
- K (自信をもつて) いくよー。秒進分歩の技術だよ。夕食、何を食べようかと迷うことがあるよね。
- M うん。あるよ。毎日のことだから。
- K そんな場合も画面にラーメン、うどん、ソーメンを出しておいて、指定するんだ。
- M 君。それ全部、麺類だよ。それに食べ物くらいは自分で作ればいいじゃないか。作る楽しさだってあるしさ。(相方を軽く小突き) これ確認だけど、自動って言っているけど、指定した食べ物屋へ行くための道順を教えてくださいただだから。君。分かっているかい？
- K (相方を無視し) こんなことも簡単にできちゃう。まだ、あるの？ どんなこと？

- K 好きな女の子を何人か画面に出しておいて、その中から結婚した子を指定するんだ。
- M へーッ。そんなことまで出せるの？
- K 秒進分歩の技術だよ。できるよー。できなきゃいけないよー。さっそく指定してみよう。
- M そんなア。いくらなんでも恋愛を機械に頼るなんて。自分で行動しろよ！ 恋愛は心だよ。(胸に手をおき) ハート、心臓でするものよー。
- K (ナビを操作する仕草) その常識はもう通用しない。秒進分歩の技術だからね。このナビに頼れば一番美人と結婚できる……。 (笑) へっへっへっ。ピッピッピッのピッと。あれあれれ。
- M どうしたの？
- K (泣) あゝあゝあゝあ。
- M 急にどうしたのよ？ 泣いたりして。
- K ナビがナビがゝゝア。
- M ナビがどうかしたの？
- K 動かん！
- M 色々指定したからバッテリー切れだろ。
- K これって失恋かア。
- M じゃあ、しばらく充電期間が必要だな。

3. キレ(切れ)ていいすっよ

— 舞台上に漫才コンビ(けいと&まさと)が登場する。

(了)

けい 最近、すぐにキレ(切れ)るお年寄りが増えたなあ。先日も、
 スーパーでカートを押しながら、通路が狭いとか、買いたい商
 品の棚が判らんとか、ブツブツ言うていると思うたら、若い店
 員を掴まえて、「何とかせえー」言うて怒っとんや。
 まさ キレルかあ。
 けい 黙って見てたんや。そしたら店員が優しく説明しているのに「年
 寄り扱いしとさってー」ってまたキレてんのやでえ。
 まさ そうかあ。昔は若い子たちがキレてよう喧嘩しとったけど、今
 はお年寄りがキレルかあ。
 けい キレルかア〜って、キレルキレル研いだばかりの包丁みたいや
 で。
 まさ そりゃあ、怖いなあ。で、何でお年寄りがキレルんや。
 けい 色々理由はあるそうや。
 まさ どんな？
 けい 難しい話をするとき……。
 まさ (相方を小突き) ちょっと待って。(怒ったように) 難しい話は
 嫌やでー。
 けい 君は、すでに年寄りかあ。
 まさ なんて？
 けい すぐにキレてるやないかい。これから説明したる。で難しい話
 をすると、医学的には、年を取るとともに、感情を抑制する脳
 の前頭葉の機能が低下したり、このあたりやで(頭の前部を擦
 る)、複数の情報を同時に処理することが困難になって、周囲
 に配慮する余裕がなくなったりするそうなんだ。
 まさ そうかあ。若い子が感情を抑えられなくて、喧嘩を売り買いつ
 けると同じだな。

けい そうとも言える。
 まさ でも難しい説明やな。もつと簡単にできんかい？ でなきや、
 僕はキレルでー。
 けい キレンといってくれ。易しく説明すれば、年を取って、身体も思
 うように動かなくなり、生きる意欲も失いかけているから、自
 分にイライラするみたいだな。
 まさ その解消法はないの？
 けい そうやね。一番いいのは誰か話し相手、友達をもつことだよ。
 他人と常にコミュニケーションをとってればいいんだ。ある
 いは趣味や娯楽を持つことだね。
 まさ (客席を見て)聞きましたあ。皆さん！ 趣味や娯楽ですよ。
 寄席に来て、けいとまさとの漫才を見てもうて、ワーと笑
 うて、キレンようにしましょう。
 けい じゃあ、君、すっかり漫才せんとあかんがな。
 まさ それを言われると、僕はマジでキレルよー。
 けい キレとつたら、あかんがな。(話を変える口調で) でもなあ、
 キレてもいい場合もあるし。特に、お年寄りの場合は……。
 まさ なんてやねん。キレとつたら、さっきの話で人間関係、悪うな
 るがな。
 けい うん。キレていいのはオレオレ詐欺に引っかかるからなことかな。
 まさ オレオレ詐欺って、子どもや孫のふりして、年寄りに電話して、
 金を奪うっていう、あれかい。ぎょうさんのお年寄りが騙され
 ている。
 けい そうや。さっきの話でお年寄りは話し相手が欲しいんや。そん
 なところへ若い男が電話してきてくれるもんやさかい、考える
 暇がない、嬉しいがな。で詐欺に引っかかりやすいんや。

まさ で、何でオレオレ詐欺の場合にはキレてもいいの？

けい そんな電話がかかってくれば、すぐに切ればいいだろ。

まさ ちよっと待った！ そんな簡単なことですむなら、誰も詐欺に引つかからんて。すぐに切らんと、楽しまなあ。楽しんでから切るんや。

けい ええつ。詐欺師に引つかからんように楽しむってかい？

まさ そうやないかい。人生、楽しまなく。じゃあ、どんなふうに楽しめばいいか、実演しよう。君と僕とで。ええか。いくで。(電話音) プループル。(詐欺師の声) お母ちゃん！ オレ、オレや。

けい はい。(ガチャンと電話を切る)

まさ おい。どうしたんや？

けい 知らん人で若い男の声だったから、切った。

まさ それじゃあ、実演にならんがな。

けい とところで「お母ちゃん！」って、何歳や？

まさ 32歳の想定や。

けい 詐欺師の歳は？

まさ 48歳。

けい おうい。どこの世界に親よりも歳のいった息子がおるんかい？

まさ (ニコニコ笑い、人差し指を自分に向けて) おるんや。ここに。

けい アホなこと言うな。詐欺師のターゲットはお祖母ちゃんやお祖父ちゃんやないかあ。

まさ じゃあ、お祖母ちゃんていくは。

けい それなら、君は孫やからな。

まさ プループル。

けい はい。

まさ (声音を変えて) お祖母ちゃん。オレ、オレだけど。孫のオレです。

けい 待って。詐欺師が孫ですって名乗るかい？ 相手にその名前を言わせるんだよ。

まさ お前、詳しいな。もしや……。

けい やってない。さあ、やり直し。

まさ プループル。お祖母ちゃん。オレ、オレだよ。

けい (祖母の声) はい。ああ。その声はもしかして孫の……、孫の……、孫の……。

まさ 早よう、孫の名前を言わんかい。

けい 孫の……、孫の……、誰やったかなあ。

まさ (すっこけながら) 誰でもええから名前を言え。

けい 孫の……、孫の……太郎かい？

まさ うん。(小声で引つかかりよつて) 太郎だよ。

けい そうかい。太郎かい。でも声が変わたねエ。

まさ うん。風邪を引いて咽喉が腫れているんだよ。

けい そうかい。そうかい。久しぶりだねえ。お祖母ちゃんは嬉しいよ。太郎。いいところに電話をくれたねえ。

まさ どうしたの？

けい 年金の支給日までの生活費が足りなくてねえ。太郎。必ず返すから、2万円だけ貸してくれないかい。子どもの頃にはお小遣いをあげただろ。

まさ ちよ、ちよっと待ってんかあ。どこの世界に詐欺師から金を借りる年寄りがおるんや。立場が逆転してるやないかい。

けい 分かってるがな。冗談や。

まさ 真剣にやってるんやから、冗談は止めて。(気をとりなおし) プループル。

けい はい。
 まさ お祖母ちゃん。孫の太郎です。
 けい まあ、若い人、それも孫と話ができるなんて、何年ぶりかしら。
 太郎ちゃん。得意だった、志村^{しむら}けんの物真似をやっておくれ。
 まさ (躊躇しつづ) うん。うん。やるよ。「アイーン。そうです。わたしが変な小父さんです」
 けい ガチャン。
 まさ おい。何で切るの？
 けい そんなこと知るかい。お祖母ちゃんに訊けばいいだろう。
 まさ おお、そうだな。ブループルー。
 けい はい。
 まさ お祖母ちゃん。オレ、オレだけど。まだ話があるんだ。
 けい 太郎だね。久しぶりだねえ。懐かしいところで、あしやがんのすけ 芦屋 雁助の物真似を聞きたいねえ。
 まさ (躊躇しつづ) うん。雁助さんねエ。うん、やるよ。「わてが雁助だんねん。♪嫁に行く日が、来なけりやいと……♪」
 けい ガチャン。
 まさ おい。また切ったなあ。何で？
 けい お祖母ちゃんに訊けばいいだろうって。
 まさ そうやったな。ブループルー。
 けい はい。
 まさ お祖母ちゃん。何で、また電話を切るのよ。話を聞いてよ。
 けい アグネスちゃんのあの歌も聞きたいねえ。
 まさ (うろたえ) やるよ。やるけどー。でも、今の若い人、アグネス、知ってるかなあ。
 けい どうしたんだい。太郎だろ。

まさ やるよー。(マイクを両手で握って)「はーい！ アグネスです。♪丘の上、ヒナゲシの花で……♪」
 けい ガチャン。
 まさ (怒って) おい！ 君！ 何回切れば気がすむの？
 けい だから、お祖母ちゃんに聞きなさいって。
 まさ 分かったよー。訊きますよ。ブループルー。
 けい はい。
 まさ お祖母ちゃん、電話切らないで、最後まで話を聞いてくれる。
 けい (キレて大声で) 聞いてられないよー。物真似、下手糞じゃない！
 もう金輪際、かけてくるなあ！
 まさ こりゃあかん。お祖母ちゃん、キレまくってるー。
 けい それでええんや。

(了)

注。加齢にともなう脳の機能の低下については『朝日新聞』2017年4月26日・5月10日を参照した。

4. カメは万年

— 演者の K & M (けいと & まさと) が舞台へ登場する。

K 古いテレビ番組で家出人を探すというのがあったよね。
 M あゝ、あったあった。奥さんに家出をされた旦那がスタジオでマイクに向かって呼びかけるんだ。「洋子！ 帰って来てくれ！ 帰って来てくれたら、今度は俺が家出する！」
 K 最後の「俺が家出する！」は余計だね。それに洋子って、僕の女

房の名前なんだけどオ。

M 分かった。ごめんごめん、ついね。

K それで番組のスタッフがどこから探し出して来て、うまくいけばスタジオにも来てもらって。

M カーテンの後ろにいてもらって。

K カーテン、オープン！

M みごとにご対面できると、当事者たちだけでなく、テレビの前の視聴者たちも涙を流すという……、お涙ちょうだい番組ね。

K そうそう、それ。それをここでも再現してみないかい？

M おもしろそうだね。

K やってみよう。

M じゃあ、僕が司会役で、君が奥さんに家出をされた哀れな旦那さんという設定で、どう？

K 哀れな旦那はちょっと嫌だけど、まあいいよ。任せてくれ。

— はい。今日も「テレビで、ご対面」をお送りします。今日のご対面者は奥様が近所のスーパーへ買物に出かけたまま帰宅されず、悲観に暮れたまま長年、お子さん3人を男手一つで育ててきたAさん、48歳に登場していただきます。どんな感動する結末が待っていることでしょうか。では、さっそく、Aさんをこちらへお呼びしましょう。Aさん、どうぞこちらへ！

A (偉そうに) ただいま、ご紹介にあずかりました私こと……。

司 ううん。Aさん。これ、ご対面番組ですから、もっと悲しそうな雰囲気で、お願いします。

A (泣) あゝア、あゝあ、あゝ。

司 いきなり泣いておられますが、大丈夫でしょうか。Aさん、落ちて

着いて、あの5カメラに向かつて奥様に呼びかけてください。

A あゝア、あゝア。分かりましたあ。カメ、カメ、カメが5つ。♪もしもしカメよ カメさんよ♪

司 違いますよ。落ち着いてください。(指さし) あの5と表示されて、赤いランプが点いているカメラに向かつて、叫んでください。

A あゝア、あゝあ。(元氣よく) ただいま、マイクのテスト中！

司 ううん、Aさん、マイクのことには気にせずに、買物に出てから帰宅しない奥様へ、声を……。

A あゝア。興奮が止まらなくてエ。

司 そうですね。今日、このスタジオで奥様にお会いできるかもしれない、その瞬間を思うだけでも興奮しますよね。分かります、分かります。でも、いいですか。ここは落ち着いて、気を静めて、さあ張り切って、どうぞ！

A ♪キイーと帰って来ると……、帰って来いよ♪

司 カーン！

A 鐘一つかあ。くそ。今日は咽喉の調子が……。

司 Aさん。勘違いされては困りますよ。これはのど自慢番組じゃないですから。

A あゝア、あゝあ、すみません。「張り切って、どうぞ！」と声をかけられたものですから、つい。あゝあ。

司 古いコントや漫才はなしですよ。さあ、近所のスーパーへ買物に出たがり帰宅されない奥様へ、呼びかけてください！ 愛しい奥様へ！

A (手を振りながら) おゝい、香芽子！ 聞こえたら返事をしてく

れー。おいしい、香芽子！ 聞こえているかー。返事をしてくれー。ううん。Aさん。リラックスしてください。リラックス。カメラはもういいですから。奥様の名前を叫んでください。

A だから、香芽子。

司 冗談は止めて、真剣にお願いしますよ。この番組を作るためにたくさんのお金がかかっていますから。(Aの耳元へ) Aさんもここへ来るときに交通費をいただいたでしょ。

A (司会者の耳元へ) はい。往復2800円をもらいました。これで昼食はてんぷら定食をいただきました。久しぶりで(笑)へっへっへっ。

司 (Aの耳元へ) そんなことはどうでもいいですから。奥様のお名前を。

A 女房の名前は香芽子なんですがア。

司 はい。奥様のお名前は海にいる。♪もしもしカメよ♪ の亀ですか？(笑) これは失礼しました。

A (怒) 違いますよ。香の芽の子と書いて、香芽子です。

司 あーあ、そうでしたかあ。でも、気を静めるために一度、いや3回深呼吸をしましょう。(Aは深呼吸の動作) 吸ってエ、はいてエ、吸ってエ、はいてエ、吸ってエ、はいてエ。はいてエ。これで大丈夫ですね。さあどうぞ。

A 香芽子！ 帰って来てくれ。子供たちも待っているぞ。お前がすき焼きの肉を買い忘れたって言って、家を出てから、出てから、あーあ、あーあ。

司 (Aの背中をさすり、うなづきながら) 落ち着いて、落ち着いて。すき焼きの鍋と、とり皿、卵をテーブルに並べたままなんだー。子供たちは腹減ったー、飯食わせ！ って騒いでるぞー。だから、

だから、あーあ、頼む、すき焼きの肉は牛でなくてもいい、この際、トリでもブタでもいいから、いや、やっぱりすき焼きには牛かなあ。

司 ううん。Aさん、すき焼きに拘らないで。もつと大変な思いをししていることを、苦勞話をお伝えください。涙をそそる苦勞話を。

(泣) くっくっくっ。

A あーあ、あーあ。そうだった、そうだった。マイクの前に立つと緊張するんです。

司 泣いてばかりじゃ、奥様に伝わりませんよ。いま、困っていることを。

A はい、はい。分かりました。香芽子！ お前が使っていた便秘薬はどこに置いてあるんだあ。

司 便秘薬？

A お前、知ってるだろ。俺が便秘気味だつて。もう3日も出さない。早く帰って来てくれ。近所じゃなくて、どこか辺鄙なスーパーにでも行ったのか。香芽子！

司 (Aを小突き) ちよちよつと、Aさん。そんな便秘と辺鄙、下らんシヤレは止めてください。

A そうです。いくら気張っても下らんのです。司会さんも便秘ですかあ？

司 違いますよ。私は毎朝、心地よい爽やかな便通がありますよ。

A (笑) 爽快。

司 シヤレはいいですから。最後に一言、奥様へ声をかけてください。はっはい。長ネギも忘れないで買ってこいよー。

A はい！ これにてAさんの奥様への呼びかけは終了いたします。ええッ？ もう終わりですか？ 言いたいことは川、谷、丘、い

司 山のようにありますが。もう終わりかあ。あ、あ、あ、あ。
もう泣かないでいいですよ。

— さて、テレビの前のみなさま、当番組のスタッフたちがAさんの奥様を探し出すために北は北海道から南は九州沖縄までありとあらゆる地域、人々を訪ねてまいりました。その成果はあったのでしょうか！ ずい分と番組制作費も出費いたしました。その答えはこのカーテンの後ろにあります。果たして、カーテンの後ろにはAさんの奥様、すき焼きの肉を買うために近所のスーパーへ出たきり、いまだ帰って来ない、便秘薬の置き場所を唯一知っている、奥様はいらっしゃるのでしょうか？ いよいよ運命の時です。

A (司会者の袖を引つ張り) 長ネギも買ってこいと。

司 (その手を振り払い) では、カーテンをオープンいたしましたよ。

カーテン、オープン！

A あア。香芽子！ 香芽子が！（がっくり首を垂れる）

司 残念、残念です。これは予想だにできなかった結末です。奥様は現れませんでしたア。

A あ、あ、あ、あ。こんなカーテンの後ろでかくれんぼをしているわけないでしょ。香芽子はスーパーへ、スーパーへ。

司 Aさん。がっかりする気持ちは分かります。気を落とさないで、これからもスタッフたちが奥様を探し続けますから。山奥のみならず、亀の住む海の中までも。まだ、希望はあります。

A (司会者の手を握り) お願いします、お願いします。家にはすき焼きの準備をしたままで、とり皿も卵も用意してありますし。

(一一)

— 司会者はマイクに向かって、奥様、どこかでのテレビをご覧になっているならば、どうか勇気を振り絞って名乗り出てください。旦那さん、お子さんたちもあなたの帰りを一日千秋の思いで待って……。

A (司会者の袖を引つ張り) ちよつとー。間違ってますよー。

司 何が、ですか？

A それは、いち(じつ) 日先週にちせんしゅうと言うのですよ。この場合、一日いちにちはついたらちとは言いません。

司 (怒) ちよつと間違えただけじゃないですか？ 女房に逃げられたあなたから指摘されたくないですよ。

A でも、香芽子がスーパーへ買物に出たのは先週ついでちの一日ではありません。

司 (その手を振り払い) いいえ、こういう場合は一日千秋の思いで……、つまり一日が千年にも感じられるほど待ち焦がれている、という思いをですわね……。

A 千年は鶴つるですよ。

司 何をおっしゃっているんですか？ しっかりしてくださいよ。Aさん、日本中、至る所を探しても見つからなかったのですよ。いいですか。奥様は帰って来ないかもしれませんよ。待てますか？ もちろんです。すき焼きの次に香芽子のことを愛してますから。待ちますよ。

司 いつまで亀さんを待つおつもりですか？

A はい。万年。

(了)

5. しゅうかつ

— 演者のK&M(けいと&まさと)が舞台へ登場する。

K 君。終活しているかい？

M 出てくるそうそう、何を聞くの？ 僕はこの仕事に満足しているからする必要ないよ。でも僕の息子がしているよ。

K 年寄りの君がなくて、息子がしているって。息子、偉いなあ〜。うん。事前に色んなことを調べてさ。毎日、幾つか回って、パンフレットをもらって、汗かいて帰ってくるんだ。泣き言いたり、

歓んだり。親の僕も一喜一憂させられているよ。そりゃもう一生懸命さあ。

K 若いのに、ほんと偉いなあ〜。

M 大学4年生になるとたいていやっているよ。学生時代最後の総仕上げさ。

K へ〜ッ。終活。若い人の間で流行っているのか？ 面白い世の中だね。

M 面白いじゃないよ。でもやらないと……、早い者勝ちってこともあるからさ。来年3月に大学を卒業するから。その後は働いてもらわないと。就活はサラリーマンとしての人生のスタートだもの。

K 人生のスタートだのにもう終活かア。でどんな準備をしているの？

M ごくごく普通だよ。

K ごくごく普通って、どう普通なの？

M どう普通なのってかい。よく、街中で見るだろ。リクルートスー

ツを着て、小さな黒いバッグを持ってさ。お決まりのあの恰好だよ。ほ〜。そのバッグにノートを入れてるんだ。

M そう。年上の先輩からよく説明を聞いて、メモを取って、よく考えてから選ばないと。一生を棒に振ることもあるから。

K 他人、それも年上の方の意見を聞くのもいいよね。選ぶって、捨てる物と残す物ね。

M そうそう。残すものだけでいいかな。捨てるものはね、この際、縁がなかったって諦めてさ。

K 君はそう簡単に言うけど、捨てる物を選ぶのが大変だよ。悩むよ。で、どんなことをノートに書いているの？

M それは、きつと、給料、退職金、会社の業績なんかだろうね。(不思議そうに) 息子さん、結婚しているの？

M してないよ。まだ22歳だもの。学生よ。

K じゃあ、どこか身体に悪いところでもあるの？ 不治の病とか？

M おい。ひどいことを言うなよ。どこも悪くないよ。ピンピンしてるよ〜。

K 結婚もしてないし健康そのもの。だのに後に残る家族のために会社の業績なんか書き残すんだ。ふんふん。

M 会社の業績は一番大事だろ。

K へ〜ッ。死んでからも会社の心配をしてあげるんだア。

M 君！ 僕の息子を殺さないでよ！ ピンピンしてるってー。どこも悪くないから。

M でも終活をしているんだよな？ ふ〜ん。

K ふ〜ん、って何よ。君は就活のことを訊いているんだろ？

M そう。僕は終活のことを訊いているのよ。

K 分からんかなあ。

M 就活だろ？

K うん、就活だよ。

(了)

6. 厄払い

― 演者のK&M(けいと&まさと)が舞台へ登場する。

K 正月元旦に配達される新聞ってすつごく、分量多いよな。

M そうそう。2日分と特集分、それに広告が配達されるから、普段の3、4倍あるかなア。

K その新聞をさあ、今年はずっくり捲くって読んでみたんだ。

M それだけ、正月は暇だったってことね。余った時間があつて

……。

K そう。暇で〜エ、暇で〜エ。

M 簡単に認めないでよねエ。

K しょうが(つ)ないだろ。

M いや、あつたんだよ。

K 何？ 何があつたの？

M だから、しょうがつはあつたのよ。

K (咳払) んんッ。新年早々、相変わらず下手なダシヤレを言って、もう〜。

M あつたでしヨ。暇だったでしヨ。僕はテレビの寄席番組を観てたもの。

(一四)

K ちゃんと勉強したかい？

M したよう。他の芸人のネタを聞いて、自分を磨くために。4時間番組を最初から最後まで観たよ。

K 仕事のオフアアが来ないんだから。仕方ないよ。それだけ暇で〜エ、暇で〜エ。

M (話題を変えるように) はいー。今日の漫才を頑張りましたよ！それで新聞がどうかしたのかい？

K そう新聞んだけどオ、その新聞の広告に混ざって、面白いものが挟はさまっていたんだ。

M 広告に混ざって、面白い？ 宝クジの当選券とか？

K そんな縁起のいいものが挟はさまっているわけないだろ。あれば、ここで暴露しないよ。

M 面白いって言うから、願望も込めてさ。で、何が挟はさまってたの？うちの近所に、神社があるだろ。

M うん。小学校の正門前の道路を渡るとあるね。立派な鳥居のある、あの神社ね。

K その神社の宮司ぐうじさんが書いた「新年のご挨拶とお知らせ」っていうチラシが挟はさまっていたんだ。

M へーッ。神社のご挨拶をする時代かね。神社なら「どんど焼きや厄祓やくばらいのお知らせ」じゃないの？

K その「お知らせ」は表紙にあつたよ。

M (相方を小突き) ねえ、こんなこと知ってる？

M 厄祓のことだけど、幾つかの神社の料金を比べると結構な差があるってこと、知ってる？

K 知らないよ。そんな厄祓の料金なんてどこも同じじゃないの

か？

M これが違うんだな。僕も41歳の前厄でお祓いをしてもらったから。

K どれだけ違うの？

M うん、5000円の神社もあれば、2000円の神社もあった。神様も価格競争をしているんだ。少子化で厄年の人口も減っているし。

K で、君はどっちでお祓いをしてもらったの？

M もちろん、僕は……。

K 2000円だな。

M ビンボー。いやピンポーン！

K わざわざ安い方を選ぶなんて、君らしいよ。

M だって、どっちで祓ってもらっても神様は神様だろ。

K そりゃそうだけど、そんなところでケチルから仕事のオッファーが来ないのよー。

M そういう君はお祓いをしてもらったことがあるのかい？

K ありません！

M じゃあ、偉そうに説教しないでよ。そんなことより挨拶文は？

K そうそう、チラシの裏面が挨拶文さ。びっしり書いてあった。

M えー。新年の挨拶なんて短いもんでしょ。

K ところが、びっしりよ。その上、赤字だから。

M ふーん。神社の経営も大変なんだな。

K どうして大変なんだ？

M だって、君、今、赤字って言っただろ？

K その赤字を心配するくらいなら高い方のお祓料金を設定している神社を選んであげろや。

M なんだ赤字じゃないのかい？

K だからア、経営じゃなくて、文字が赤字なの。赤字で印刷されるのよ。

M 文字のことかア。なるほど。で、どんな挨拶が書いてあったのよ？

K これが漫才だよ。漫才(笑)。

M 漫才だよ、って今、僕たち漫才してるよ。

K いやいや、その神社の宮司さんの書いた文面が漫才さア。漫才のネタになるってこと。

M じゃあ、僕たちよりも面白いんだア。ハツハツハツ。

K (得意気に) そう、僕たちは下手で笑いが取れない〜じゃないだろ。それじゃあ、負けてるでしよ。

M 君が言ったのよ。で文面がどうって？

K うん。この宮司さんねえ、去年の師走に転んで肋骨を亀裂骨折したんだってさ。

M そんなプライベートなことが書いてあるのかい？ 新年のご挨拶だろ？

K 書いてあるんだよ。これが〜ぬけぬけと書いてあるんだア。

M ぬけぬけなんて言葉は止めようね。相手は宮司さんだからね。でも、宮司さんだって、人間だもの転んで骨を折ることもあるだろうよ。

K いや、ねえ。面白いのは、この文面がその骨を折ったことへの反省を書いていることなんだ(笑)。反省3連発だよ。

M ご挨拶じゃなくて、反省？ どう書いてあるの？

K いいかい。「不幸な出来事に対して愚痴をこぼしたり、人を呪ったりは、なるべくしないよう心がけております。」

M 「なぜ、神様はこんなにも試練を与えるのか。」

K 「痛みに耐えながら今年も、しぶとく、したたかに生きていこう

と決意を改たにしています。」だつてさ(笑)。

M なかなか立派な決意じゃないか? そう簡単にできるもんじゃな
い。

K (小馬鹿にして) これ、立派か。これ、笑えるだろ?

M どう、笑うの? どう可笑しいのよ。

K よく考えてみるよ。神様に仕える人、神様の生き写しとも思われ
る宮司さんがだよ、「愚痴をこぼしたり、人を呪ったりはなるべ
くしないよう心がける」って、これは宮司さんが参拝客や氏子^{うぢこ}を
諭す言葉だろ。「なるべくしないよう」って、じゃあこれまで宮
司さんは誰かを呪って生きてきたのか、って想像しちゃうだろ。
神様に仕える宮司さんが人を呪っていいのかあ? 違うだろ。
その呪いを除くのが宮司さんのお仕事だろ。

M そう言われればそうとも読める。

K 次の「なぜ、神様はこんなにも試練を与えるのか」これって自分
が神様に十分、奉仕してこなかったからだろ。信心が薄すぎるつ
てことだろ。バチが当たったと反省しろ!

M うん。そうとも言えるけど、そう興奮しないでね。漫才だから。

K 分かってるよ。最後に「決意を改にしています」だよ。改に
しちゃだめだろ。決めたことは何年かかろうとも実行しなきゃ。

M 君の意見には一理ある。うんうん。

K いいかい? これは宮司さんが書いた文章だからな。新年にこん
なチラシを配るかア。

M 宮司さんも骨折が相当に骨身に沁みたんだろうよ。

K そうかもしれない。でもそんなことは胸に仕舞っておくか、日記に
でも書いて反省すればいいだろ。世間に向かって公表すべきこと
かア?

M きつと俗っぽい性格をお持ちの宮司さんなんだよ。

K それにまた、宮司さんの名前が面白い。笑っちゃうよ。

M 宮司さんらしい格好いい名前だろ。なんて名前なの?

K 神尾悟^{かみおさとし}だよ。悟って、迷いを去って、悟りを開くっていう意味
だぞ。この宮司さん、ぜんぜん、悟ってないじゃん!

M そんなに不平不満を言うのなら、そのチラシをどんどど焼きに持っ
て行って、焼納^{しょうのう}すればいいじゃないか。

K 笑納^{しょうのう}って、つまらない物だけど笑って、納めてくださいって、神

社へ持つていくのかあ? 宮司さんに返すのかい?

M そのしょうのうじゃなくてさ、焼いて、清めてもらうのさ。

K それって嫌味でしょ?

M ゴミ箱に捨てるよりもいいかも。せいぜい、資源回収に出すべ
だよ。

K そうだな。神社から出てきたものだから。どこへでも捨てるもん
じゃない。それこそバチが当たりそうだ。でも、それで宮司さん
は納得するののか?

M しないよ。きつと。

K (強い口調で) じゃあ、どうすればいいの?

M 参拝した人たちが宮司さんのお祓をしてあげればいいだろ。

K (感心して) そつかあ。お前、頭いいなあ。代わって宮司をやっ
てあげろ。

M 宮司さんに付いた疫病神^{やまびょうがみ}を大勢の参拝客で追い祓うんだア。エ
イエイオーって。

K こりゃあいいわー。新年早々のグッドアイディアだな。

M もちろん、お祓料は宮司さんにも払ってもらうから。

K いくら?

M 50000円さあ。

(了)

注。2018年1月1日、月曜日、某神社のチラシを参考にした。

7. その飯^{まんま}

— 漫才コンビ(けいと&まさと)が舞台へ登場する。

けい 君。最近、ペットを飼い始めたそうじゃない。

まさ 誰かに聞いたのかい？

けい うん。小耳にはさんだのさ。

まさ ええッ。それじゃあ、痛かっただろ？

けい どうして？

まさ 耳をドアか何かにはさんだんだろ？

けい はさんでないよ。

まさ だって、今、君は耳をはさんだって言っただろ。

けい 違うよ。他人がしゃべっていることを聞くとまなしに聞くことを小耳にはさむって言うのだよ。

まさ じゃあ、本人に直接聞くことを大耳をはさむって言うの？

けい 言わないよ。

まさ な〜んだア。てっきり、ドアにでもはさんだのかと心配してあげたのに、心配して損したなあ。

けい で、ペットって何？

まさ うん。猫を一匹ね。

けい 猫？ 猫の額ほどしかないマンションに住んでいて、よく猫を飼えるねエ。

まさ 僕は独身だから、部屋へ帰ると寂しいのよ。

けい 猫に金を使わずに人間の女性に使えよ。ほんと君は〜。

まさ そっちが上手くいかないから……。

けい 君はねえ。女性を前にすると猫かぶりしているから上手くいかないのさ。借りてきた猫じゃ一緒にいても女性は楽しくないよ。

反省しなさいよ。

まさ 上手くいけば猫なんて飼わないよ。寂しさを紛らわせるために飼っているんだ。奥さんのいる君にはこの気持ち分らんよ。

けい それで猫を飼って、どう。生活は変わったかい？

まさ 変ったよう。僕が玄関ドアを開けると、奥からポチが尻尾を振りながら駆け寄ってくるんだ。もう可愛くてねえ。ペロペロ、

ほっぺを舐めてくれるんだあ。あ〜可愛い。

まさ さっきから何を聞いているの？ 猫だって言ってるでしょ。犬

なんて飼ってないよ。

けい じゃあ、猫なのに名前がポチ？ 犬みたいじゃないかア。

まさ (怒) 飼主の僕が名前を何とつけようが君に文句を言われる筋

合いはない。ポチは賢いんだぞ。そこらにいる猫とは違う。

けい どう賢いの？ どこが違うの？

まさ お手とお座りができるんだ。

けい 君ねえ〜。それじゃあ、本当の犬だろ。もっと猫らしい名前に

しろよ。

まさ (怒) ポチに興味があるのなら、あ〜、そうかい、君はポチの

食費を出してくれるとでも言うの？

けい

まさ

けい

まさ

けい そんなの出さないよう。犬か猫かも分からないものに。

まさ じゃあ、文句は言わないでよね。色いろと苦勞もあるんだから。は。

けい は。って、どうしたの。その溜息は？

まさ それがさあ、聞いてよ。

けい 聞くよ。

まさ 猫ってさあ、雑食かと思つたら、それでもなくて何でも与えちゃいけないだよなア。

けい (不思議そうに) へ。ッ。そうかい。猫なんて、人間が食べ残したものを与えておけばいいんじゃないの。それとも最近の猫はキャットフードで舌が肥えて、人間の残飯を食べないのか？ どうかしたの？

まさ 残飯なんか食べないよ。それは昔の猫へのイメージだよ。このところ病院通いが続いているんだ。は。

けい ええッ？ 猫を病院へ連れて行くって!?

まさ うん。そうだよ。動物病院へね。

けい 猫も美味しいものを食べさせてもらっているから、人間と同じで糖尿病、高血圧や心臓病に罹っているって聞くけど。糖尿か？

まさ 高血圧か？ 心臓か？

まさ 確かにそういう猫もいるけど……。うちのポチはそんなんじゃない。

けい ポチと呼ぶのはやめろってー、もう。人間の君が医者通いしてなきやいいじゃないか。猫だって好きで飼いはじめたんだろから。

まさ でも、猫って人間と違って、保険が利かないから、治療費もバカにならないんだよなあ。

けい 普通、猫に小判って言うけど、まさに猫に金がかかっているんだア。で、どんな食物を与えちゃいけないのさ。

まさ 例えば、タマネギやニラかな。

けい へ。ッ。どんなふう駄目なの？

まさ タマネギやニラには血液内の赤血球を壊す成分が含まれているので、大量に与えると貧血や下痢をおこすんだ。

けい 貧血や下痢。いよいよ人間並みだな。で、そんなものいつ与えたのさ？

まさ うん。すき焼きをしたとき、人間にとっても美味しいものだから、煮汁を与えたんだよ。

けい 一人ですき焼きかよ。それは豪華だな。そんなときは呼んでくれよ。絶対に手ぶらで参加するから。

まさ 何か、持つてきてよ。(咳払い) んんッ。そう茶化さないで。

けい ああ。ごめん。煮汁って、あの飯にかけて食べると至福の味となる、あの煮汁ね。

まさ そう。

けい (笑) それじゃあ、猫も意外と損をしているんだな。じゃあ、シチュウもカレーも駄目だろ。タマネギが入るもの。

まさ そう。駄目だよ。加熱しようが煮ようが、駄目。

けい なるほどねエ。

まさ それから、これはびっくりさせられたんだけど、生の魚介類も要注意なんだ。

けい 要注意って。

まさ イカやタコは加熱すること。アジ、イワシ、サバのような青身の魚は食べ過ぎると駄目。

けい 何！ 猫って生魚が大好物なんじゃないのか？ 昔からそう決

ま っ て いる だろ？

ま さ いいや、駄目なんだ。青身の魚を食べ過ぎると、脂肪が不飽和脂肪酸という成分によって、黄色脂肪酸になる。この病気になる、腹から胸にかけて痛みが出て最終的に歩けなくなるんだよ。ちょっと難しい話だけど。

け い そつかア。それ、本当かあ？ サザエさんのテーマソングでも、♪お魚くわえた、ドラ猫追っかけて……♪って歌ってるよ。

ま さ うん知ってるよ。もう少し分かりやすく説明するよ。青身の魚や生のイカやエビは炭水化物をエネルギーに変える役割をするビタミンB₁を分解してしまう酵素が多く含まれているから。

け い 君はそう言うけど、猫って、実際に魚を食ってるぞ。漁港なんかへ行ったら、漁師さんが野良猫にポイって投げて与えているじゃない。よく見るって。

ま さ でも、本当は駄目なんだよ。ビタミンB₁が不足すると脳が働くエネルギーを十分に作れなくて、運動機能に障害を引き起こすんだ。

け い 猫を飼うのもけっこう面倒だな。

ま さ そう面倒なのよ。キシリトール入りのガムや飴も駄目だから。カカオ入りのチョコレートなんかを与えると吐き気や下痢を起こす。

け い そつかア。人間にとっちゃあ、カカオ入りのチョコなんて美味いけどなア。

ま さ でも猫には毒だから。

け い そんなに面倒なら、飼うのを止めればいいだろ。だいたいなあ、猫のエサや病気を心配するよりも、君はその姿勢、猫背を直し

なさいよ。それを意識して直すだけでも女性と交際できるかも
しれないよ。

ま さ でも現状では、僕は独身だから部屋へ帰っても寂しいし。ポチに癒してもらっているし。

け い もうポチって呼ぶなよ。そうネガティブに考えるから、上手くいかないのさ。でもなあ、そんなことよりも、いいかア、これはアドバイスだけど、猫だけは大切にしろよ。

ま さ 君ねえ。さっきは飼うのを止めろ、って言ったじゃないか。

け い うん。重大なことを思い出したんだ。

ま さ 重大なことって、何を？

け い (深刻に)猫を死なせると、化けて出るってことを。

ま さ おどさないでよ。

け い 化け猫にならないようにするには、君の場合はまずエサを考えないと。

ま さ そう、そうなんだ。そこで僕なりに考えたんだけど、贅沢なものとは与えないで、オーソドックスに猫飯ねこはんが一番いいかなって。

け い 猫飯って、味噌汁を掛けたご飯の上にカツオ節かつおぶしを乗せた、あれか？ 猫にとっては伝統的な日本食と言われている。

ま さ そうだよ。

け い (顔の前で右手を振りながら)でもそりゃあ駄目だ、駄目だ。君、さっき言ってただろ。

ま さ 何て？

け い カツオ節の原料はカツオ、魚だぞ。要注意だろ。

ま さ でも、猫にカツオ節とも言うよ。

け い (強く)それはことわざだろ。しっかり現実を見ろよ。恋人代わりの猫なんだろ。

まさ そつかあ。じゃあ、どうするかなア？

けい (ニツと笑い) もつと安上がりで腹持ちのいい最高のエサがあるじゃないか。それも日本食でかつ粗食で……。

まさ どんな？ ねえねえ、教えてよ。

けい 教えるけど、決して怒らないでくれよ。

まさ 怒るわけないだろ。聞きたいよ。

けい うん。その飯(飯のみ)でいいんじゃないかア。

(了)

注。猫や犬への注意すべき食べ物「朝日新聞」2017年9月30日を参照した。

8. 恋人はAーロボット

― 演者のK&M(けいと&まさと)が舞台へ登場する。

K ねえ、君、恋人いないよな？

M 出てくる早々、何を聞くのよ？

K だから、君には恋人というか、ガールフレンドというか、特定の付き合っている女の子はいないよな？

M (怒)なにを失礼な。この僕にだってガールフレンドの1人や2人……。

K いるの？

M (泣)いないよ。

K 期待を持たせるようなしゃべり方は止めてよー。

(110)

M でも、恋人とはいわないまでもガールフレンドくらいは欲しいよ。

K そうだよね。いつかは結婚もしたいし。

M 恋人がいたら、毎日が楽しいだろうねエ。

K きつと。

M 「きつと」って、そういう君はどうなの？ いるのかい？

K (泣)いないんだよ。

M いないのかい？ お互いにもてないことを暴露してどうするの？

K でもねえ、僕らだけじゃなくて、異性と付き合ったことのない人

たちが増えているそうだよ。

M そうかい？ みじめだけどオ、僕たちくらいじゃないの？ 彼女

いない歴32年なんて。

K 僕たちだけじゃなくて、増えているんだ。

M どんなふうによ？

K いいかい、新聞に書いてあったことだけど、一生を独身で終る可

能性のある男女が増えているんだ。

M ほう。どれくらいいるの？ 気になるなア。

K 国の研究所が国勢調査を使って分析したものと、50歳まで

に一度も結婚したことの無い人が2015年に男性で23・37%、

女性で14・06%もいる。

M へーッ。そんなにいるんだア。

K 「そんなにいるんだア」じゃないよ。僕たちも予備軍なのだから。

M そつかあ。

M で、この数値は過去最高値を更新しているんだ。

M さらに増えるってこと？

K そう。都道府県で見ると、男性では沖縄の26・20%がトップ、女

性は東京の19・20%が最も高く、次いで北海道の17・22%だよ。

- M 東京以外でも未婚者は多くいるんだね。これは意外だなア。
 K そうだね。
 M でも、みんなが結婚することを嫌っているわけじゃないでしょ。
 K 「嫌っているわけじゃなくて」したくてもできない状況にあるんだ。
 M ええッ？
 K 事実、18歳から34歳の未婚者のうち、「いずれは結婚したい」と考えている人の割合を見ると、男性では85・7%、女性では89・3%もいるもの。
 M したくてもできない。結婚相手がいるのに？
 K そう。したくてもできない理由は「結婚資金が足りない」とか「住居を確保することが大変」とかいうことなんだ(『朝日新聞』2017年4月6日)。
 M そんな理由なのかア。
 K もちろん、結婚したい好きな相手を探したけど結局、見つからなかったってこともあるよね。
 M あるだろうねエ。僕たちみたいに、あッア。
 K でもね。問題はそこにあるのじゃなくて。
 M どこにあるの？
 K 異性と付き合うこと自体が煩わしいって考える人が増えているそうだよ。
 M 相手に気遣いして、嫌だってことね。
 K そう。だから、同性と付き合うのが楽だとか、異性と付き合うのはもともと苦手だ、という人が増えているようだね(『朝日新聞』2016年9月24日)。
 M そうかなあ。僕は女性とおしゃべりがしたいけどね。
 K 僕も同感だよ。
- M じゃあ、そういう若い人たちはどこで異性を意識するの？
 K それが、映像の中とかアニメらしいよ。
 M 映像？ アニメ？
 K そう。生身の人間じゃなくてアニメのような映像の中の人間となら気遣いなく話せるそうなのよ。
 M へーッ。本当に？ 生身じゃなく、映像の中？
 K そうみただよ。
 M それじゃあ、いつそのことAIロボットを彼、彼女にしてみえ
 K ばいばい。
 M AIロボット？
 K そう。介護ロボットがお爺ちゃんやお婆ちゃんと話をしているだ
 M ろ。
 K ああ、あれ。テレビで観たことあるよ。
 M AIロボットは賢い「ドラえもん」だよね。
 K そう、AIは人口知能だから。
 M そのAIの大きな特徴は学習能力をもっていること。
 K たとえば。
 M たとえば、自分が好きな女優さんのプロフィール、好きな洋服、好きな食べ物、性格やものの考え方などをロボットに学習させるのさ。
 K AIは人間の脳ミソと同じような働きをして、学習するから。
 M そう。自分好みの女性になってもらうのさ。
 K そうかア。じゃあ、僕は横澤まさみちゃんのような清纯な女性が
 K タイプだから、まさみちゃんに
 K 関係するあらゆる情報をAIロボ
 K ットに学習させるんだね。イン
 K プットさせるんだア。
 M そうそう。そうすると横澤まさみちゃんとお付き合いしている感

K 覚になれるわけさ。
 K こりゃいいわー。やってみたいよ。
 M でも、決して間違った情報を学習させないように。
 K たとえば。
 M たとえば、強盗とか詐欺とかの情報を学習させても、それはしてはいけないことだと認識させておかないと、とんでもないことになっちゃうよ。
 K ロボットが強盗とか詐欺師になってしまう。
 M それだけは避けてね。
 K 僕が考えているAIロボットはか弱くて可憐なロボットだから、悪さはしません。心配ご無用です。
 M それならいいけど。
 K 変な情報は学習させないから。
 M じゃあ、ここで君がAIロボットとデートをする場面をやってみよう。
 K AIロボットとデート。楽しそうだね。
 M 君が人間の男性、僕がAIロボットの彼女だよ。
 | KとMは腕を組んで歩く動作。

ロボ ねえ、ノビ太さん。
 K 申し訳ないけど、ノビ太さんだけは止めて。頭が悪そうでエ。
 ロボ じゃ、アナコンダさん。
 K アナコンダさんも止めて。僕はヘビじゃないから。
 ロボ どう呼べばいいの？
 K 格好いい名前で真さんしんって呼んで。

ロボ はい。真さん、今日はいい天気ですね。どこかデートしましょう。
 K うん、いい天気だね。どこへ行こうか？
 ロボ わたし、最初に連れて行って欲しい所があるの？
 K どこですか、それは。
 ロボ あら、恥ずかしい。女のわたしの口からは。
 K 恥ずかしいことはないですよ。僕たちは恋人なのですから。さあ、言ってください。どこへ行きたいのかな？
 ロボ バッテリーが切れそうなので充電したいの。
 K だって、お尻の穴にコードを差し込まれるのですよ。
 ロボ 心配しなくてもいいですよ。じゃ、近くの給電所へ行きましょう。
 K はい。
 K AIロボットさん。着きましたよ。
 ロボ あら、AIロボットさんなんて変ですわ。AIなのでアイと呼んでください。
 K ああ、そうでした。まだ名前を付けていませんでしたね。さっそく、充電しますね。アイさん。
 ロボ はい。お願いします。
 K (Mのお尻にコードを差し込む動作) プシユ。
 ロボ あ〜ア、あ〜。
 K どうかしりましたか？
 ロボ あ〜あ、気持ちいい〜。
 K 変態かア！ 君は！ いや、君じゃなくてアイさん。
 ロボ わたしとしたことが、失礼しました。
 K どこで学習したの？ か弱く可憐なロボットでしょ。

ロボ はい。以後、気をつけます。

K 充電が终れば、食事でもどうですか？

ロボ あら、嫌だわ。わたしは食事中です。

K ああ、そうでしたね。アイさんの好物は電気でしたね。

ロボ はい。充電終了です。お腹一杯になりました。さて、次はどこへ行きましょうか？

K デートの定番である映画でも観みましょう。

ロボ 映画、まあすてき。どんな映画かしら。

— Kとロボは上演予定の看板を見上げる動作。

K 色々、ありますね。アイさんはどれが観たいですか？

ロボ そうですね。右から2つ目の。

K 右から2つ目の「女子高生深夜の秘事」これは成人映画ですよ。別のものにしきましょう。

ロボ じゃあ、4つ目はどうかしら？

K 4つ目は「体育教師スクール水着にムラムラ」これも成人映画です。初デートで観るものじゃないです。

ロボ あら、わたしとっても興味がありますけど。ぜひ学習させて欲しいですが。ふっふっふっ。

K 興味があっても女性はそんなことを口にするものではありません。

ロボ はい、そうですか。そのように学習しておきます。脳ミソにインプットしておきます。

K これにしましょう。

ロボ どれですか？

K 「ロボット対人間」。SF的でいいじゃないですかね。

ロボ あら、同業者が登場するものは嫌です。

K ああ、そうかア。変なライバル心が起こりますかね。

ロボ はい。

K じゃあ、この「あんたの名は」これにしましょう。今、最も観られている映画ですから。

ロボ そうですか。じゃあ、観みましょう。

— Kとロボは座席に座る動作。

ロボ グーグー、グーグー。

K (以後、小声で) アイさん。どうされましたか。映画館ではいびきをかいて寝てはいけません。他のお客さんに迷惑ですから。

ロボ あら、だって後ろのお客さんもいびきをかいて寝てますよ。わたし、学習しました。

K (中指を唇に当て) シー。(小声で)それを真似してはいけません。

ロボ (以後、小声で) わたしは見るもの聞くものをすべて学習して脳ミソへインプットしますから。

K ああ、そうでしたね。でも、してはいけないことはしないように。これも学習してください。

ロボ はい。映画館ではいびきをかいて寝てはいけません。はい。学習しました。

K どうです、この映画？

ロボ 変ですね。

K どこがですか？

ロボ 橋の上でおっさんとおばさんの身体が入れ替るなんて。

K そうです。そこがこの映画の大きな仕掛けになっていますから。気持ち悪いじゃないですか。

K でも、泣かされる場面がたくさんあって、アイさんも人間の感情というものを学習できたでしょ。

ロボ 学習はできましたが、やはりおっさんとおばさんとは……。

K そうですか。(普通の声で) 映画が終わりました。今度はどこへ行きたいですか？

ロボ (依然として小声で) わたし一度でいいから生のボクシングを見てみたいです。

K もう普通にしゃべってもいいですよ。

ロボ はい。

K アイさんとボクシングはどうも結びつきませんが。

ロボ いいえ、わたしこう見えても結構活発で肉食系の性格ですから。そうですか？ じゃあ、ボクシングを見に行きましょう。ちょうど、タイトルマッチ戦が行われていますね。

— Kがリングアナウンサーの声で、赤コーナ、チャンピオン
○○。青コーナ、挑戦者××と紹介する。ロボ||Mはシャドーボクシングの動作。

ロボ 真さん、すごい迫力ですね。

K そうでしょ。アイさん。こんな近くで見て怖くないですか？

ロボ ぜんぜん、怖くないです。チャンピオンのパンチは強烈ですね。音が聞こえますもの。

K そうです。このチャンピオンは8回も防衛していますから。強いです。

ロボ あゝア。挑戦者の目蓋が切れて血が流れてる。

K ボクシングはこれがあるから一層、見る側も興奮するんです。

ロボ あゝア。挑戦者がダウンした。

K このラウンドでもう2回、ダウンするとTKOでチャンピオンの勝ちとなります。

ロボ 挑戦者はフラフラよ。あゝあ、パンチが顎に。

K 完璧なノックアウトです。

— Kはレフリーのように、ワン、ツー、……テンと数える。

K チャンピオンの5回KO勝ちですね。

ロボ ちよう格好いいー。男らしいー。すてきー。

K アイさん、試合も終わりましたから、帰りましょう。

— KとMは腕を組んで歩く動作。

ロボ はい。それにしてもボクシングはすごかったですね。まだ、興奮が冷めません。

K そうでしょ。そうでしょ。か弱い可憐なアイさんが見るスポーツではないでしょ。

ロボ (真剣に) 真さん。それはないでしょ。か弱い可憐な女性はボクシングを見てはいけないのですか？

K いいえ、そういう意味で言ったわけじゃありません。

ロボ リングサイドではたたくさんの若い女性ファンが見ていましたよ。そうですね。いましたね。でも、僕は、アイさんにはあんな野蛮なスポーツを見て欲しくありません。

K そうですね。いきましたね。でも、僕は、アイさんにはあんな野蛮なスポーツを見て欲しくありません。

ロボ (目を据えて) 真さん、今、なんて言いました? (Kの腕を振り払う動作)

K 野蛮なスポーツを見て欲しくないって。

ロボ ボクシングは野蛮じゃないです。「見るな」と、わたしに命令するのですか?

K いいえ。命令ではなくて僕の希望です。希望。

ロボ 許せません! (AIロボットはKの顔面と腹にパンチを打つ動作)

K (うづくまり) うゝゝウ。何をするのですかア? アイさん、暴力はいけません。こんな乱暴をするロボットだとは思わなかったゝ。

ロボ すみません、あらどうしましょう。

K こんな恋人じゃ……。うゝゝウ。プログラムが壊れたのかなあゝ。

ロボ いいえ、わたしはたった今、ボクシングを見て相手を叩きのめす方法を学習したばかりです。

K そりゃないよゝ。

(了)

